

ふくおか若者会議について

1. 会議の設置とメンバーの選定について

- 次期総合計画に若者世代の率直な意見や日頃の実感を反映させるため、若者の視点から「福岡県の将来像」や取り組むべき施策の方向性について議論する「ふくおか若者会議」を設置。
- メンバーについては、公募により幅広く募集を行い、申込があった90名について、1次審査、2次審査を実施した上で、30名を選定した。
- 募集開始段階では、募集人数を24名程度としていたが、第1回総合計画審議会において、「メンバーの多様性の確保」に関するご意見をいただいたことを踏まえ、地区、性別、年齢、学生・社会人の別、活動経験、応募動機等を総合的に勘案し、より幅広い視点を計画に反映できるよう、当初予定を上回る30名を選定した。

【公募のスケジュール(実績)】

5月18日(月)～6月5日(金)	申込受付	<申込者90名>
6月 5日(金)～6月8日(月)	1次審査(書類)	<通過者58名>
6月15日(月)～6月21日(日)	2次審査(オンライン面談)	<通過者30名>

- メンバー構成は次表のとおり。地区、性別など、多様な視点が確保されるよう選定した。

<学生20名の内訳>

所属	性別	地区			
		北九州	福岡	筑豊	筑後
高校生	男性		3名		
	女性		2名		1名
専門生	男性				
	女性				1名
大学生	男性		3名	1名	
	女性	3名	2名	2名	2名
合計	男性		6名	1名	
	女性	3名	4名	2名	4名

<社会人10名の内訳>

所属	性別	地区			
		北九州	福岡	筑豊	筑後
社会人	男性	1名	2名	1名	1名
	女性	1名	4名		

2. 第1回会議の開催について

- 第1回会議は、7月12日(日)に県庁特別会議室で開催。
- 当日は、メンバー同士の顔合わせを行った上で、学生グループと社会人グループに分かれ、5年後の福岡県の将来像についてワークショップ形式で議論した。

- 議論では、まず「5年後もこんな福岡県はいやだ」というテーマを設定し、若者が日頃感じている課題や将来への不安を自由に出し合う形で意見交換を行った。

【第1回若者会議で出された主な意見】

<地域・人口>

「福岡県の都市部のみに人口が集中するのは、いやだ」

<子ども・教育>

「こどもの居場所が減っていくのは、いやだ」

「不登校や自殺率が増加しているのは、いやだ」

<地域コミュニティ>

「若者と地域のつながりが無いのは、いやだ」

<デジタル・AI>

「AIによって考える力がなくなるのは、いやだ」

<自然・安全安心>

「シカなどの野生鳥獣による交通事故が多いのは、いやだ」

- 第1回会議で抽出した課題を踏まえ、第2回会議では、「こんな福岡県にしたい」という視点から、将来像の実現に向けて必要な施策の方向性について議論する予定。

3. 今後の予定

- ふくおか若者会議は、全3回の開催を予定している。
 - <第1回> 7月12日(日)
顔合わせ、5年後の福岡県の将来像について議論
 - <第2回> 8月9日(日)
将来像の実現に向けて必要な施策の方向性について議論
 - <第3回> 10月18日(日)
意見の取りまとめ、総合計画への反映に向けた整理
- 各回で出された意見については、若者会議の代表者2名から、総合計画審議会において発表していただく予定。
- 第3回及び第4回総合計画審議会において、若者会議での議論内容を報告するとともに、審議会での議論も踏まえながら、若者世代の視点を次期総合計画へ反映していく。